

# 環境保全活動の目標と実績、環境負荷の全体像

荒川化学グループでは環境負荷低減に向けた目標を掲げ、継続的かつ着実な活動を実施しています。

## 環境保全活動 目標と実績

### ●環境保全活動の結果

荒川化学グループでは、地球にやさしい企業を目指して単年度目標と2012年度中期目標を立てて、環境負荷削減活動をおこなってきました。

2011年度は2007年度対比で、生産量が大幅に減少した結果、環境負荷物質の絶対量は減少し、原単位は逆に悪化しました。対前年でも、生産量が減少し同じ傾向でした。

### ●環境保全活動の目標

次期中期目標(2015年度)は、長期方針(2020年度)に基づいて下記のように決めました。

環境マネジメントシステムは、全社ISO14001認証取得して充実させる

- ①温暖化ガス排出量を削減
- ②ゼロエミッション化推進
- ③再生可能資源、エネルギーの利用推進
- ④生物多様性の確保のための取り組み推進

評価基準：○目標以上達成 ○ほぼ目標通り達成 ×目標未達 ××目標大幅未達

重点テーマ	2011年度荒川化学グループの環境保全活動				2012年度目標
	目標	実績	評価	関連頁	
環境マネジメントシステムの確立と維持	ISO14001、エコアクション21取得事業所の維持審査合格 その他事業所のEMS構築	ISO14001認証取得4工場、ベルノックス、高圧化学エコアクション21維持審査合格、その他事業所のEMS構築	○	P10	全事業所の環境マネジメントシステムの構築
環境会計の実施	環境保全コスト、物量効果、経済効果を荒川化学グループで実施	環境保全コスト、物量効果、経済効果を荒川化学グループで実施	○	P12	環境会計の継続、環境経営へのアドバイス
省エネルギーの推進	エネルギー原単位を2007年度比4%削減	エネルギー原単位が2007年度比17.5%増加	××	P13	エネルギー原単位を2007年度比5%削減
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	CO <sub>2</sub> 排出量を2007年度比4%削減	CO <sub>2</sub> 排出量を2007年度比5.2%削減	◎	P13	CO <sub>2</sub> 排出量を2007年度比5%削減
産業廃棄物の削減	最終埋立率 1%以下	最終埋立率 1.7%	×	P15	最終埋立率 1%以下
化学物質の適正管理	PRTR対象物質の排出量を2007年度比4%削減	PRTR対象物質の排出量を2007年度比60.8%削減	◎	P16	PRTR対象物質の排出量を2007年度比5%削減
	PRTR対象物質の移動量を2007年度比4%削減	PRTR対象物質の移動量を2007年度比27.1%削減	◎		PRTR対象物質の移動量を2007年度比5%削減

## 環境負荷の状況

